

視聴覚教育

NO. 379

発行日

24. 1. 27

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

『ツイッター』

百四十文字以内の「ツイート」と称される短文を投稿できる情報サービス。パソコンやスマートフォン、携帯メールでの投稿も可能。この投稿はインターネットに接続できる環境であれば誰でも見ることが出来る。

視聴覚教育あれこれ

新規購入DVD教材の紹介

新規購入DVD教材を紹介いたします。ここに紹介した作品以外にもあります。詳細については視聴覚ライブラリーのホームページをご覧ください。指導の助けになる教材も見つかると思います。



「理科実験観察集セレクション (DVD版)」

全十巻 (中学生対象 15分)

「あしたをつかめ 平成若者仕事図鑑」第3期

全五巻 (中学生対象 24分)

「ミドリちゃんと

リサイくるくるショッピング」

(小学生対象 21分)

「地球が熱を出している」

(小学生対象 20分)

「ようこそ！エコロ島」

(小学生対象 17分)

「もったいないばあさんと考えよう」

世界のこころ

全三巻 (小・中学生対象 10〜40分)

「手話学習用DVD」

手にうたを 手話で歌おう」

全三巻 (小中学生対象 20分)

「トムとジェリー」英語、日本語吹き替え

全五巻 (小学校 60分)

「障害者と補助犬の生活から学ぶ やさしい気持ち、いたわりの心」

全四巻 (小中学生 20分)

情報モラル教育の推進を

現職研修委員会学習情報部長 丸尾光司

新しい年を迎えた。元旦の朝、届いた年賀状に目を通す。この日だけの挨拶がもう何年も続いているものもあるが、疎遠ではあっても、添えられた直筆のメッセージは温かい。

パソコンとプリンタを使って、誰もが簡単に葉書印刷できるようになった。届く年賀状は、宛名がプリンタで印刷されているものばかりである。さらに、最近ではインターネットや携帯電話の普及に伴って、電子メールで新年の挨拶を済ませる若者も多い。時代とともに変わっていくコミュニケーションの形。しかし、そうした利便性の中にあっても、「人との関わり合い」を根底で支えるモラルやマナーは不変である。子供の教育を担う私たちは、そのことを子供に伝えなくてはならない。光と影の両面から情報社会を理解し、安心安全に情報機器を道具として使いこなしていける力。今、まさに情報モラル教育への取り組みが求められている。

携帯電話の普及と、それに伴って子供が危険にさらされている状況については周知の通りである。警視庁の調査結果では、平成二十三年度

上半期だけで、十八歳未満の被害者は六百七十九人と報告され、年々増加を続けている。各学校においても、生徒指導上の問題に携帯電話が絡んでいることが非常に多いと聞く。

さらに今年も、ガラケー(ガラパゴス携帯)からスマホ(スマートフォン)への移行が、ますます進んでいくであろう。当然、子供の間でもスマホが広がっていく可能性は高い。総務省からの指導によって、各携帯電話事業所もスマホのフィルタリングに動き出している。しかし、WiFi接続については対象外とし、各ユーザの責任でアプリをインストールしなければならぬ。実質、野放しの現状がある。

携帯ゲーム機を持ってフリースポットに集まる子供が何をしているか、知らない親は多い。危険な情報と出会いの場は、大人の知らない間に子供にダイレクトに届けられている。こうした危険から子供たちを守らなくてはならない。小学校では本年度から、中学校では来年度から完全実施される学習指導要領には、道徳の授業で情報モラルを扱うように明記されている。ICTの積極的活用と同時に、情報モラル教育の推進が、今年重要な課題である。

実践報告Ⅱ

口形を意識して話すための工夫

恵田小学校 原田 帆波

一年生国語科「すきなもののクイズをしよう」の単元は、「はっきり話す」ことが目標の一つにあげられている。

普段から子供たちには「はっきり話しなさい」と声をかけてはいるものの、言葉がけだけの指導に留まっていた。具体的な指導が不足していることに気付き、『はっきり話すためにはどうしたらよいか』と子供たちに問いかけてみた。すると、「口をしっかり開けるといいよ」という答えが返ってきた。

そこで、教材提示器の画像反転の機能を使い、発表する子の姿を50インチの大型ディスプレイに映した。これにより話している自分と向かい合う形となり、自分がどのような口形で話しているのかがよく分かる。自分の姿を確認できるようにしたこと、子供たちは口の開け方を意識しながら発表することができた。子供たちからは「口を大きく開けたら、大きな声が出た」という気付きも発表された。

はっきり話すためには、口をしっかり開けることが大切だということに、一年生の子供が具体的に気付くための手助けとして、視覚情報を活用した手立ては効果的であった。



Ⅱレッツ・トライⅡ

ネットタイプライスで文字入力力の向上を

子供たちがパソコンを使いこなすには、文字入力をスムーズに行うことが前提条件だと言える。担任している五年生にはスペースキーボードでよく練習させるが、単調な文字打ちだけでは飽きやすい。そこで、文字打ちの練習の成果を試す方法の一つとして、ネットタイプライスを利用するのはどうだろうか。

ネットタイプライスは、パソコン室の子機同士のネットワークを利用し、誰かがレースの開催を呼びかけ、それに応じた子供たちが参戦するゲームである。勝負はタイピングの速さを競うもので、そこに勝者が生まれる。

レースを行うようになって、これまで学級内で文字打ちが上手な子というだけの地位が、ゲームでの「トッププレーヤー」という新たなステータスに変わった。また、それを目指して周囲の子たちも練習に力が入るといふ盛り上がりを見せ、個々の文字入力力の格差解消に一役かっている。当初は数人の男子から始まったレースだが、現在は学級内のほとんどの子が楽しみつつ練習している。

ただこれにも欠点があり、速く入力することを目指すあまり、運指が自己流の誤ったものになりやすい。常にホームポジションに立ち返って基本練習も行うことも忘れないようにしたい。

（奥殿小学校 学習情報主任 橋本 直司）



ライブラリーだよ

各教室に設置されている50インチの大型ディスプレイやノートパソコン等の活用にお困りの方はいませんか。岡崎市視聴覚ライブラリーから発行されている『視聴覚教材・機器利用の手引き』には、コンピュータ教材や視聴覚機器を利用した授業の実践例が掲載されています。ぜひご一読ください。

また、岡崎市視聴覚ライブラリーには、たくさんのビデオ教材、効果音、機材があります。これらは、直接、視聴覚ライブラリーのホームページから予約ができます。（インターネット予約には、各学校の学習情報主任の先生に配布されているIDとパスワードが必要）教材に関しては「利用目的」の欄に「授業のため（メール便を希望）」と打ち込むと交換メール便で配達されます。貸出期間は貸出日を含んだ七日以内です。

『視聴覚教材・機器利用の手引き』に教材の一覧が掲載されています。インターネットでの検索も可能です。ぜひご利用ください。

※二月末から三月中旬にかけて予約が殺到します。計画的にご予約ください。

